

※現地調査資料からの修正箇所は紫ハッチで示す。

敦賀発電所2号炉
敷地の地形，地質・地質構造
K断層と原子炉建屋直下を通過する破砕帯との連続性
(令和6年6月6, 7日現地調査 資料 連-4)

令和6年6月28日
日本原子力発電株式会社

余白

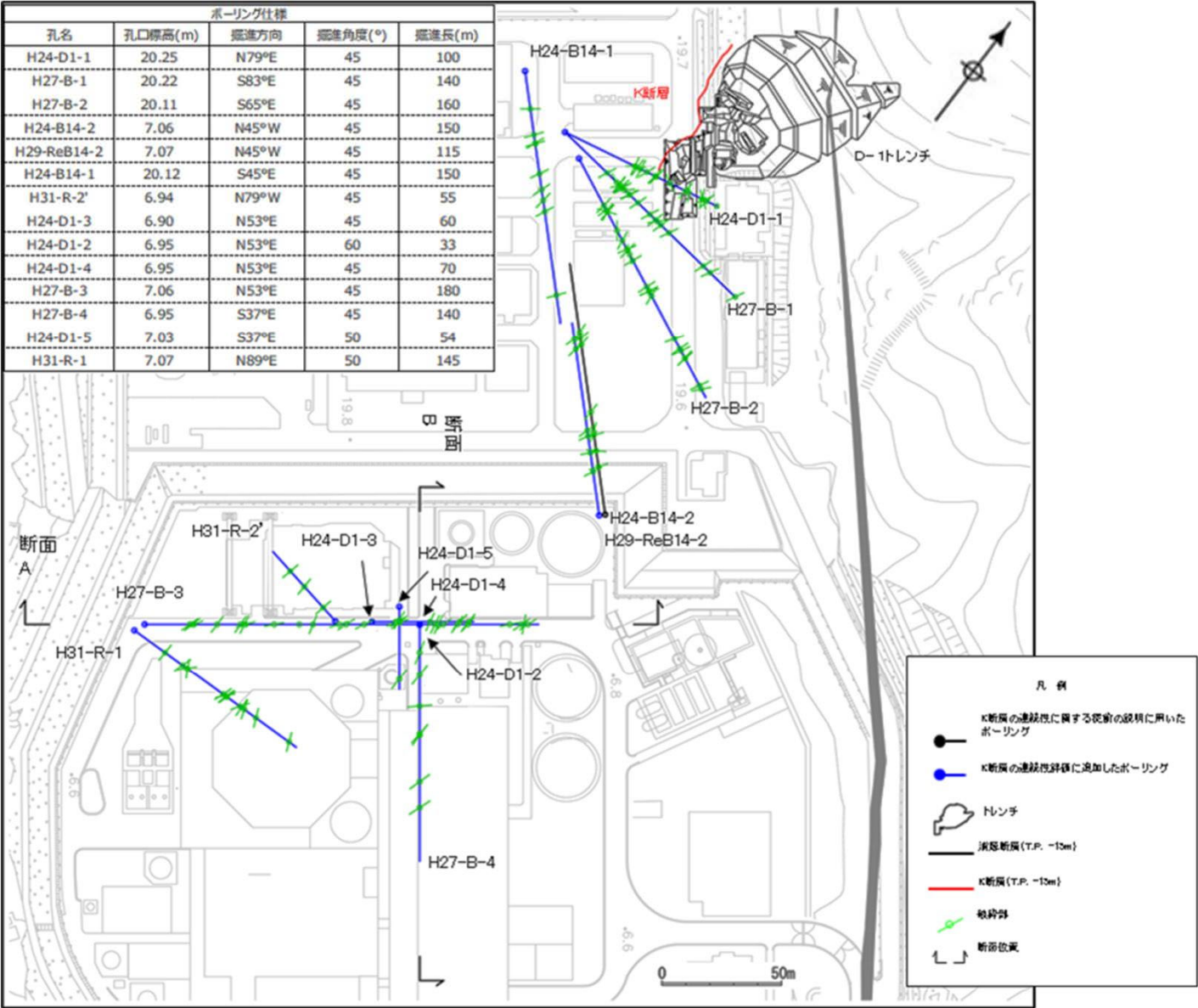
目 次

調査位置図	5
性状一覧表(H24-D1-1)	7
性状一覧表(H27-B-1)	11
性状一覧表(H27-B-2)	15
性状一覧表(H24-B14-2)	19
性状一覧表(H29-ReB14-2)	21
性状一覧表(H24-B14-1)	23
性状一覧表(H31-R-2')	27
性状一覧表(H24-D1-3)	29
性状一覧表(H24-D1-2)	31
性状一覧表(H24-D1-4)	33
性状一覧表(H27-B-3)	35
性状一覧表(H27-B-4(H27-B-4' ※1))	39
性状一覧表(H24-D1-5)	41
性状一覧表(H31-R-1)	43

※1 H27-B-4孔のコアの一部が乱れている等から、必要に応じてデータを代用するためのボーリングである。

余白

調査位置図



余白

性状一覽表
H24-D1-1

性状一覧表(H24-D1-1) (1/2)

第1239回審査会合
資料3-2-3 修正

確認箇所	破砕部番号	破砕帯地図		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ・断層角礫			最新活動面の 明瞭な せん断構造 変形構造	条線 方向	変位センス		破砕帯名 / 断層名	写真		
		上端深度 (m)	下端深度 (m)				有無	断層幅 (cm)	鉛直			水平					
													肉眼			薄片	総合
H24-D1-1 (傾斜45°)	①-1	45.91	45.94	N12W	79W	3.0	無	無	無	-	-	37L	逆	左	F-d1-1-1-1	45	
H24-D1-1 (傾斜45°)	①-2	46.30	46.45	N57E	33NW	14.1	無	無	無	-	-	81R	正	-	非モデル化	46	
H24-D1-1 (傾斜45°)	①-3	47.64	47.75	N1E	58W	10.8	有	無	無	-	-	30R	正	左	非モデル化	47	
H24-D1-1 (傾斜45°)	②	49.20	49.91	N9W	74E	51.9	有	有	有	1.0	無	90	正	-	非モデル化	49	
H24-D1-1 (傾斜45°)	③	53.77	54.54	N22E	75E	32.5	有	有	有	1.0	無	75R	正	-	非モデル化	53	
																54	
H24-D1-1 (傾斜45°)	④	58.96	59.30	N8E	78W	28.7	有	有	有	1.4	有	-	正	-	非モデル化	58	
																59	
H24-D1-1 (傾斜45°)	⑤	60.12	60.15	N9E	88W	2.5	有	有	有	0.2	有	80L	正	-	D-1	60	

※1 断層岩区分の総合評価に基づき記載し、肉眼「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「-」を記載
 ※2 斜めボーリングの場合は、計測値を補正した値を記載
 ※3 卓越しない成分については「-」を記載(両成分「-」は薄片観察を行っていない箇所)
 ※4 破砕幅及び断層ガウジ・断層角礫の幅は実幅を記載
 -(上記以外): データを取得していない箇所

凡 例	
	: 最新活動面
	: 断層ガウジ
	: 断層角礫
	: 破砕幅 カラーバーが付いていない区間はカタクレーサイトを示す

性状一覧表(H24-D1-1) (2/2)

第1239回審査会合
資料3-2-3 再掲

確認箇所	破砕部番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 ^{※1} (cm)	断層ガウジ・断層角礫			最新活動面の 明確な せん断構造 変形構造 ^{※1}	変位 方向 ^{※2}	変位センス ^{※2}		破砕帯名 断層名	写 真	
		上端深度 (m)	下端深度 (m)				有無					幅 ^{※1a} (cm)	鉛直			水平
							肉眼	薄片	総合							
H24-D1-1 (傾斜45°)	⑥	68.84	69.20	N61W	83N	20.6	有	有	有	0.1	無	7R	-	左	非モデル化	
H24-D1-1 (傾斜45°)	⑦	78.77	79.19	N4E	78E	19.1	有	無	無	-	-	45R	逆	右	非モデル化	
H24-D1-1 (傾斜45°)	⑧	81.20	81.42	N29W	79W	18.0	有	有	有	0.4	無	0	-	左	非モデル化	
H24-D1-1 (傾斜45°)	⑨	89.91	89.95	N23W	86E	2.0	有	有	有	2.0 [※]	無	33L	正	右	D-33	 ※ 断層ガウジ(0.5cm)と断層角礫(1.5cm)の合算値
H24-D1-1 (傾斜45°)	⑩	90.26	90.84	N53W	80NE	15.0	有	有	有	0.2	有	75L	正	-	f-d1-1-10	
H24-D1-1 (傾斜45°)	⑪	91.26	91.52	N31E	83SE	11.8	有	無	無	-	-	75L	正	-	f-d1-1-11	
H24-D1-1 (傾斜45°)	⑫	93.12	93.24	N11E	83E	9.5	有	無	無	-	-	85L	正	-	非モデル化	
H24-D1-1 (傾斜45°)	⑬	99.08	99.71	-	-	2.0	有	有	有	1.2	無	90 [※]	正 [※]	- [※]	非モデル化	 ※ 破砕部の走向傾斜をBHTV画像から取得できなかった。 ※※ 破砕部の走向傾斜をBHTV画像から取得できなかったことから、重要施設方向に延長する破砕部(NS89W)と仮定した場合のデータ

- 凡 例
- ← 最新活動面
 - 破砕幅
 - 断層ガウジ
 - 断層角礫
- カラーバーが付いていない区間はカタレーサイトを示す

※1 断層岩区分の総合評価に基づき記載し、肉眼「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「—」を記載
 ※2 斜めボーリングの場合は、計測値を補正した値を記載
 ※3 卓越しない成分については「—」を記載(両成分「—」は薄片観察を行っていない箇所)
 ※4 破砕幅及び断層ガウジ・断層角礫の幅は実幅を記載
 —(上記以外): データを取得していない箇所

余白

性状一覽表
H27-B-1

性状一覧表(H27-B-1) (1/3)

第1239回審査会合
資料3-2-3 再掲

確認箇所	破砕部番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 ^{※4} (cm)	断層ガウジ・断層角礫			幅 ^{※4} (cm)	最新活動面の明瞭なせん断構造変形構造 ^{※1}	条線方向 ^{※2}	変位センス ^{※3}		破砕帯名／断層名	写真		
		上端深度 (m)	下端深度 (m)				有無	断層	薄片				総合	鉛直			水平	
H27-B-1 (傾斜45°)	①	34.54	34.59	N25E	46W	5.0	有	無	無	-	-	30L	逆	左	非モデル化	34		35
H27-B-1 (傾斜45°)	②	42.41	42.49	N65W	36N	6.8	有	有	有	1.5	無	14R	-	右	非モデル化	42		43
H27-B-1 (傾斜45°)	③	44.24	44.53	N1E	89W	20.9	有	有	有	0.2	無	0	-	左	F-d1-1-1-1	44		45
H27-B-1 (傾斜45°)	④	44.53	44.83	NS	66E	15.0	有	無	無	-	-	30L	逆	左	非モデル化	44		45
H27-B-1 (傾斜45°)	⑤	45.36	45.39	N43E	70SE	1.5	有	無	無	-	-	40L	正	右	非モデル化	45		46
H27-B-1 (傾斜45°)	⑥	46.12	46.17	N14E	79W	4.1	有	無	無	-	-	22L	-	右	非モデル化	46		47
H27-B-1 (傾斜45°)	⑦	47.40	47.51	N21E	84E	8.8	有	有	有	0.2	無	70R	正	-	非モデル化	47		48

※1 断層岩区分の総合評価に基づき記載し、肉眼「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「—」を記載

※2 斜めボーリングの場合は、計測値を補正した値を記載

※3 卓越しない成分については「—」を記載(両成分「—」は薄片観察を行っていない箇所)

※4 破砕幅及び断層ガウジ・断層角礫の幅は実幅を記載

-(上記以外): データを取得していない箇所

凡 例	
	: 最新活動面
	: 破砕幅 カラーバーが付いていない区間はカタクレサイトを示す
	: 断層ガウジ
	: 断層角礫

性状一覧表(H27-B-1) (2/3)

第1239回審査会合
資料3-2-3 再掲

確認箇所	破砕部番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ・断層角礫			幅 ^{※4} (cm)	最新活動面の 明瞭な せん断構造 有無 ^{※1}	方位 ^{※2}	方位 鉛直	方位 水平	破砕帯名 / 断層名	写真
		上端深度 (m)	下端深度 (m)				肉眼	薄片	総合							
H27-B-1 (傾斜45°)	⑧	49.17	49.22	N47E	45NW	3.0	有	有	有	1.5	無	30L	正	右	非モデル化	49
H27-B-1 (傾斜45°)	⑨	52.72	52.81	N27E	43W	7.2	有	無	無	—	—	72R	逆	—	非モデル化	52
H27-B-1 (傾斜45°)	⑩	53.17	53.22	N27E	64W	4.8	有	有	有	0.2	無	90	正	—	非モデル化	53
H27-B-1 (傾斜45°)	⑪	59.82	59.85	N20E	75W	2.5	有	有	有	0.7	有	80R	正	—	D-1	59
H27-B-1 (傾斜45°)	⑫	69.70	69.73	N25E	82E	2.4	有	無	無	—	—	20L	—	右	非モデル化	69
H27-B-1 (傾斜45°)	⑬	74.36	74.50	N15E	89W	10.7	有	無	無	—	—	54R	正	左	非モデル化	74

※1 断層岩区分の総合評価に基づき記載し、肉眼「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「—」を記載

※2 斜めボーリングの場合は、計測値を補正した値を記載

※3 卓越しない成分については「—」を記載(両成分「—」は薄片観察を行っていない箇所)

※4 破砕幅及び断層ガウジ・断層角礫の幅は実幅を記載

-(上記以外): データを取得していない箇所

凡 例	
	: 最新活動面
	: 破砕幅 カラーバーが付いていない区間はカタクレーサイトを示す
	: 断層ガウジ
	: 断層角礫

性状一覧表(H27-B-1) (3/3)

第1239回審査会合
資料3-2-3 再掲

確認箇所	破砕部番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ・断層角礫			最新活動面の 明確な せん断構造 変形構造 ^{※1}	受動 方向 ^{※2}	変位センス ^{※3}		破砕帯名 断層名	写真	
		上端深度 (m)	下端深度 (m)				有無					幅 ^{※4} (cm)	鉛直			水平
							肉眼	薄片	総合							
H27-B-1 (傾斜45°)	⑨	75.57	76.00	N44E [※]	72E [※]	18.2	有	無	無	-	-	88R [※]	正 [※]	- [※]	f-d1-1-11 [※]	75  76 ※ 破砕部の走向・傾斜をBHTV画像から取得できなかったことから、同一ボーリングコアの他の不連続面と本破砕部の位置関係から推定した値及びその値を用いて検討したデータ
H27-B-1 (傾斜45°)	⑩	78.72	78.87	N17E	71E	13.1	有	有	有	0.2	無	30L	正	右	非モデル化	78  79
H27-B-1 (傾斜45°)	⑪	85.38	85.41	N28E	88E	2.3	有	有	有	0.2	有	90	正	-	f-b-1-16	85  86
H27-B-1 (傾斜45°)	⑫	113.51	113.60	N21E	69E	8.3	有	無	無	-	-	30L	正	右	非モデル化	113  114
H27-B-1 (傾斜45°)	⑬	118.94	119.12	N29E	79E	15.1	有	有	有	1.5	有	30L	正	右	D-41	118  119
																119  120
H27-B-1 (傾斜45°)	⑭	139.82	139.88	N27E	88E	4.4	有	無	無	-	-	35L	正	右	D-42	139  140

※1 断層岩区分の総合評価に基づき記載し、肉眼「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「-」を記載

※2 斜めボーリングの場合は、計測値を補正した値を記載

※3 卓越しない成分については「-」を記載(両成分「-」は薄片観察を行っていない箇所)

※4 破砕幅及び断層ガウジ・断層角礫の幅は実幅を記載

-(上記以外): データを取得していない箇所

凡 例	
	: 最新活動面
	: 破砕幅 カラーバーが付いていない区間はカタクレサイトを示す
	: 断層ガウジ
	: 断層角礫

性状一覽表
H27-B-2

性状一覧表(H27-B-2) (1/3)

第1239回審査会合
資料3-2-3 再掲

確認 箇所	破砕部 番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 ^{※1} (cm)	断層ガウジ・断層角礫			最新活動面 の 明瞭な せん断構造 実形構造 ^{※1}	条線 方向 ^{※2}	方位センサ ^{※3}		破砕帯名 断層名	写 真		
		上端深度 (m)	下端深度 (m)				右無					幅 ^{※1,※4} (cm)	条線 方向 ^{※2}			鉛直	水平
							肉眼	薄片	総合								
H27-B-2 (傾斜45°)	①	31.15	31.66	N7E	78W	43.1	有	有	有	1.0	無	80L	正	-	非モデル化	31	
H27-B-2 (傾斜45°)	②	34.37	34.48	N18E	46W	10.8	有	有	有	0.6	無	0	-	左	非モデル化	34	
H27-B-2 (傾斜45°)	③	35.36	35.46	N69E	79N	8.7	有	無	無	-	-	10R	-	右	非モデル化	35	
H27-B-2 (傾斜45°)	④	35.68	35.73	N7W	52W	4.1	有	有	有	0.2	無	70R	正	-	非モデル化	35	
H27-B-2 (傾斜45°)	⑤	35.92	35.95	N4E	86E	2.3	無	無	無	-	-	50L	正	右	非モデル化	35	
H27-D-2 (傾斜45°)	⑥	48.08	48.12	N38W	15NE	3.1	有	無	無	-	-	0	-	左	非モデル化	48	
H27-B-2 (傾斜45°)	⑦	54.72	54.77	N8W	70W	4.2	有	有	有	0.3	無	0	-	左	非モデル化	54	
H27-B-2 (傾斜45°)	⑧	60.26	60.69	N31E	88SE	36.5	無	無	無	-	-	75L	正	-	非モデル化	60	

※1 断層岩区分の総合評価に基づき記載し、肉眼「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「—」を記載

※2 斜めボーリングの場合は、計測値を補正した値を記載

※3 卓越しない成分については「—」を記載(両成分「—」は薄片観察を行っていない箇所)

※4 破砕幅及び断層ガウジ・断層角礫の幅は実幅を記載

—(上記以外): データを取得していない箇所

凡 例	
	: 最新活動面
	: 断層ガウジ
	: 断層角礫
	: 破砕幅 カラーバーが付いていない区間はカタクレーサイトを示す

性状一覧表(H27-B-2) (2/3)

第1239回審査会合
資料3-2-3 再掲

確認 箇所	破砕部 番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ・断層角礫			最新活動面の 観察な せん断構造 実形構造 ^{※1}	条線 方向 ^{※2}	方位センス ^{※3}		破砕帯名 / 断層名	写真
		上端深度 (m)	下端深度 (m)				有無	肉眼	薄片	総合		鉛直	水平		
H27-B-2 (傾斜45°)	⑤	61.29	61.69	N8E	89W	20.6	有	有	有	1.5	有	90	正	—	D-1 61
H27-B-2 (傾斜45°)	⑩	63.75	63.85	N47W	24NE	8.0	無	無	無	—	—	36L	逆	左	非モデル化 63
H27-B-2 (傾斜45°)	⑪	68.02	68.06	N23E	74W	3.5	有	無	無	—	—	90	正	—	非モデル化 68
H27-B-2 (傾斜45°)	⑫	85.58	85.76	N20E	89E	14.4	有	無	無	—	—	15L	—	右	非モデル化 85
H27-D-2 (傾斜45°)	⑬	88.38	88.43	N26E	84E	3.9	有	有	有	0.5	無	30L	正	右	D-41 88
H27-B-2 (傾斜45°)	⑭	88.88	88.94	N35E	72NW	5.4	有	有	有	2.0	有	25L	正	右	f-b-2-14 88
H27-B-2 (傾斜45°)	⑮	91.69	91.76	NSW	82W	5.7	有	無	無	—	—	30R	逆	右	非モデル化 91
H27-B-2 (傾斜45°)	⑯	120.63	120.65	N34E	77NW	1.7	有	無	無	—	—	30L	逆	左	非モデル化 120

※1 断層岩区分の総合評価に基づき記載し、肉眼「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「—」を記載
 ※2 斜めボーリングの場合は、計測値を補正した値を記載
 ※3 卓越しない成分については「—」を記載(両成分「—」は薄片観察を行っていない箇所)
※4 破砕幅及び断層ガウジ・断層角礫の幅は実幅を記載
 -(上記以外): データを取得していない箇所

凡 例	
	: 最新活動面
	: 断層ガウジ
	: 断層角礫
	: 破砕幅 カラーバーが付いていない区間はカタクレーサイトを示す

性状一覧表(H27-B-2) (3/3)

第1239回審査会合
資料3-2-3 再掲

確認 箇所	破砕部 番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 ^{※4} (cm)	断層ガウジ・断層角礫			最新活動面 の 明瞭な せん断構造 表形構造 ^{※4}	条線 方向 ^{※2}	変位センス ^{※3}		破砕帯名 断層名	写 真		
		上端深度 (m)	下端深度 (m)				有無					幅 ^{※4} (cm)	鉛直			水平	
							肉眼	薄片	総合								
H27-B-2 (傾斜45°)	⑪	127.41	127.48	N18E	82E	5.6	無	無	無	-	-	20L	-	右	D-42	127	
H27-B-2 (傾斜45°)	⑫	128.82	128.97	N28E	81E	12.1	有	有	有	0.5	無	20R	-	右	f-b-2-18	128	
H27-B-2 (傾斜45°)	⑬	133.75	133.92	N6E	84E	15.4	有	無	無	-	-	22L	-	右	非モデル化	133	
H27-B-2 (傾斜45°)	⑭	134.15	134.23	N12E	66E	7.4	有	有	有	2.0	有	82L	正	-	f-b-2-20	134	
H27-B-2 (傾斜45°)	⑮	152.10	152.15	N28E	84E	4.0	有	無	無	-	-	30L	逆	左	f-b-2-21	152	
H27-B-2 (傾斜45°)	⑯	154.53	154.71	N42E	75SE	15.7	有	有	有	0.5	有	75R	正	-	f-b-2-22	154	

※1 断層岩区分の総合評価に基づき記載し、肉眼「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「-」を記載

※2 斜めボーリングの場合は、計測値を補正した値を記載

※3 卓越しない成分については「-」を記載(両成分「-」は薄片観察を行っていない箇所)

※4 破砕幅及び断層ガウジ・断層角礫の幅は実幅を記載

-(上記以外): データを取得していない箇所

凡 例	
	: 最新活動面
	: 断層ガウジ
	: 断層角礫
	: 破砕幅 カラーバーが付いていない区間はカタクレーサイトを示す

性状一覽表

H24-B14-2

性状一覧表(H24-B14-2) (1/1)

第1239回審査会合
資料3-2-3 再掲

確認箇所	破砕部番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 ^{※1} (cm)	断層ガウジ・断層角礫			最新活動面の 顕微鏡的な せん断構造 ^{※1}	条線 方向 ^{※2}	変位センス ^{※3}		破砕帯名 断層名	写真		
		上端深度 (m)	下端深度 (m)				有無					幅 ^{※1} (cm)	鉛直			水平	
							肉眼	薄片	総合								
H24-B14-2 (傾斜45°)	①	28.50	28.66	N35E	77NW	10.3	有	有	有	0.1	有	50R	正	左	f-b14-2-1	28	
H24-B14-2 (傾斜45°)	②	38.10	38.27	N58E	88SE	13.0	有	有	有	フィルム状	有	57L	正	右	f-b14-2-2	38	
H24-B14-2 (傾斜45°)	③	47.37	47.40	N38E	85NW	2.3	無	無	無	-	-	40R	逆	右	非モデル化	47	
H24-B14-2 (傾斜45°)	④	49.24	49.55	N21W [※]	21E [※]	25.4	有	有	有	2.5	有	17R [※]	-	右 [※]	非モデル化 [※]	49	
※ 破砕部の走向・傾斜をBHTV画像から取得できなかったことから、同一ボーリングコアの他の不連続面と本破砕部の位置関係から推定した値及びその値を用いて検討したデータ																	
H24-B14-2 (傾斜45°)	⑤	60.85	61.12	N1E	83E	19.7	無	無	無	-	-	72R	正	-	D-42	60 61	
H24-B14-2 (傾斜45°)	⑥	101.47	101.52	N3E	65E	4.5	無	無	無	-	-	20R	-	右	非モデル化	101	
H24-B14-2 (傾斜45°)	⑦	105.54	105.61	N16E	84E	4.9	無	無	無	-	-	12L	-	左	D-41	105	
H24-B14-2 (傾斜45°)	⑧	109.16	109.46	N1W	76W	7.8	有	有	有	1.0	有	- [※]	正	右	D-1	109	
※ 条線を取得できなかった																	

※1 断層岩区分の総合評価に基づき記載し、肉眼「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「-」を記載

※2 斜めボーリングの場合は、計測値を補正した値を記載

※3 卓越しない成分については「-」を記載(両成分「-」は薄片観察を行っていない箇所)

※4 破砕幅及び断層ガウジ・断層角礫の幅は実幅を記載

-(上記以外): データを取得していない箇所

凡 例	
	: 最新活動面
	: 断層ガウジ
	: 破砕幅
	: 断層角礫
カラーバーが付いていない区間はカタクレイサイトを示す	

性状一覽表
H29-ReB14-2

性状一覧表(H29-ReB14-2) (1/1)

令和6年6月6, 7日現地調査
資料 連-4 修正

確認箇所	破砕部番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ・断層角礫			最新活動面の 明確な せん断構造 変形構造 ^{※1}	条線 方向 ^{※2}	変位センス ^{※3}		破砕帯名 断層名	写真		
		上端深度 (m)	下端深度 (m)				肉眼	薄片	総合			鉛直	水平				
H29- ReB14-2 (傾斜45°)	①	26.00	26.20	N27E	71W	8.1	有	有	有	0.8	有	50R	正	左	f-b14-2-1	26	27
H29- ReB14-2 (傾斜45°)	②	37.34	37.35	N43E	86NW	1.0	有	無	無	-	-	61L	正	右	f-b14-2-2	37	38
H29- ReB14-2 (傾斜45°)	③	47.13	47.34	N28E	78W	10.8	有	有	有	0.2	無	89R	正	-	非モデル化	47	48
H29- ReB14-2 (傾斜45°)	④	50.01	50.80	N17E	76E	14.4	有	有	有	フィルム状	無	83R	正	-	非モデル化	50	51
H29- ReB14-2 (傾斜45°)	⑤	99.41	99.45	N8E	72E	3.0	無	無	無	-	-	76R	逆	-	非モデル化	99	100
H29- ReB14-2 (傾斜45°)	⑥	105.26	105.50	N19E	79W	11.7	有	有	有	0.3	有	55L	正	右	D-1	105	106

※1 断層岩区分の総合評価に基づき記載し、肉眼「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「-」を記載
 ※2 斜めボーリングの場合は、計測値を補正した値を記載
 ※3 卓越しない成分については「-」を記載(両成分「-」は薄片観察を行っていない箇所)
 ※4 破砕幅及び断層ガウジ・断層角礫の幅は実幅を記載
 -(上記以外): データを取得していない箇所

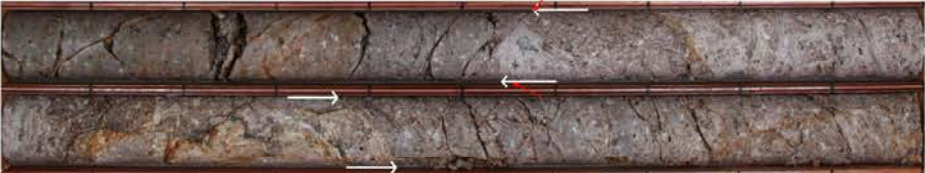
凡 例	
	: 最新活動面
	: 断層ガウジ
	: 断層角礫
	: 破砕幅 カラーバーが付いていない区間はカタクレーサイトを示す

性状一覽表

H24-B14-1

性状一覧表(H24-B14-1) (1/2)

第1239回審査会合
資料3-2-3 再掲

確認箇所	破砕部番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕性 ^{※4} (cm)	断層ガウジ・断層角礫			幅 ^{※4} (cm)	最新活動面の 明確な せん断構造 変形構造 ^{※1}	条線 方向 ^{※2}	方位センサ ^{※3}		破砕帯名 / 断層名	写 真	
		上端深度 (m)	下端深度 (m)				有無						鉛直	水平			
							肉眼	薄片	総合								
H24-B14-1 (傾斜45°)	①	21.63	22.57	N53E	69NW	87.9	有	有	有	フィルム状	無	2R	-	右	非モデル化	21 22	
H24-B14-1 (傾斜45°)	②	37.86	37.91	N37E	88NW	4.0	有	有	有	0.4	無	20R	-	左	D-29	37	
H24-B14-1 (傾斜45°)	③	42.62	42.88	N22E	81W	18.4	有	有	有	5.5	無	60L (不明瞭)	正	右	f-b14-1-2	42	
H24-B14-1 (傾斜45°)	④	43.19	43.62	N37E [※]	84W [※]	31.4	有	有	有	0.3	無	12R [※]	- [※]	左 [※]	D-30 [※]	43	
※ 破砕部の走向・傾斜をBHTV画像から取得できなかったことから、同一ボーリングコアの他の不連続面と本破砕部の位置関係から推定した値及びその値を用いて検討したデータ																	
H24-B14-1 (傾斜45°)	⑤	61.09	61.22	N28E	84W	8.7	有	有	有	フィルム状	無	18L	-	左	M	61	
H24-B14-1 (傾斜45°)	⑥	70.54	71.41	N19E	85W	58.2	無	無	無	-	-	40R	正	左	非モデル化	70 71	

※1 断層岩区分の総合評価に基づき記載し、肉眼「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「-」を記載

※2 斜めボーリングの場合は、計測値を補正した値を記載

※3 卓越しない成分については「-」を記載(両成分「-」は薄片観察を行っていない箇所)

※4 破砕幅及び断層ガウジ・断層角礫の幅は実幅を記載

-(上記以外): データを取得していない箇所

凡 例	
	: 最新活動面
	: 断層ガウジ
	: 破砕幅 カラーバーが付いていない区間はカタクレーサイトを示す
	: 断層角礫

性状一覧表(H24-B14-1) (2/2)

第1239回審査会合
資料3-2-3 再掲

確認 箇所	破砕部 番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 ^{※1} (cm)	断層ガウジ・断層角礫			幅 ^{※4} (cm)	最新活動面 の 明確な せん断構造 ^{※1}	条線 方向 ^{※2}	実位センス ^{※2}		破砕帯名 断層名	写真
		上破砕深度 (m)	下破砕深度 (m)				肉眼	薄片	総合				鉛直	水平		
H24-B14-1 (傾斜45°)	⑦	76.94	77.03	N7E	74E	4.5	有	有	有	フィルム状	無	2L	-	右	非モデル化	76 77 77 78
H24-B14-1 (傾斜45°)	⑧	82.59	83.71	N25E [※]	85W [※]	65.8	無	無	無	-	-	60R [※]	正 [※]	左 [※]	F-b14-1-b [※]	82 83 83 84
※ 破砕部の走向・傾斜をBHTV画像から取得できなかったことから、同一ボーリングコアの他の不連続面と本破砕部の位置関係から推定した値及びその値を用いて検討したデータ																
H24-B14-1 (傾斜45°)	⑨	133.38	134.77	N38E	74SE	40.6	有	有	有	1.2	無	22L	-	右	非モデル化	133 134 134 135

※1 断層岩区分の総合評価に基づき記載し、肉眼「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「-」を記載

※2 斜めボーリングの場合は、計測値を補正した値を記載

※3 卓越しない成分については「-」を記載(両成分「-」は薄片観察を行っていない箇所)

※4 破砕幅及び断層ガウジ・断層角礫の幅は実幅を記載

-(上記以外): データを取得していない箇所

凡 例	
	: 最新活動面
	: 断層ガウジ
	: 断層角礫
	: 破砕幅 カラーバーが付いていない区間はカタクレーサイトを示す

余白

性状一覽表
H31-R-2'

性状一覧表(H31-R-2') (1/1)

第1239回審査会合
資料3-2-3 再掲

確認箇所	破砕部番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 ^{※1} (cm)	断層ガウジ・断層角礫			断層活動面の 明確な せん断構造 ^{※1} 変形構造	条線 方向 ^{※2}	変位センス ^{※3}		破砕帯名 ／ 断層名	写真	
		上端深度 (m)	下端深度 (m)				肉眼	薄片	総合			鉛直	水平			
H31-R-2' (傾斜45°)	①	9.92	11.01	N12E	69W	44.3	有	有	有	0.4	無	50R	正	左	F-r-2'-1	
H31-R-2' (傾斜45°)	②	27.43	27.48	N2E	57W	1.5	有	有	有	0.3	無	70R	正	-	非モデル化	 ※ 深度27.48mのコアチューブ昇降部により、コアが不連続となっているため、同じ破砕部が再度出現している。
H31-R-2' (傾斜45°)	③	39.00	39.83	N13E	77W	44.0	無	無	無	-	-	30R	逆	右	H-2	

※1 断層岩区分の総合評価に基づき記載し、肉眼「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「-」を記載

※2 斜めボーリングの場合は、計測値を補正した値を記載

※3 卓越しない成分については「-」を記載(両成分「-」は薄片観察を行っていない箇所)

※4 破砕幅及び断層ガウジ・断層角礫の幅は実幅を記載

-(上記以外): データを取得していない箇所

凡 例	
	: 最新活動面
	: 断層ガウジ
	: 断層角礫
	: 破砕幅 カラーバーが付いていない区間はカタレーサイトを示す

性状一覽表

H24-D1-3

性状一覧表(H24-D1-3) (1/1)

第1239回審査会合
資料3-2-3 再掲

確認箇所	破砕部番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 ^{※1} (cm)	断層ガウジ・断層角礫			最新活動面の明瞭なせん断構造変形構造 ^{※1}	変位方向 ^{※2}	変位センス ^{※3}		破砕帯名・断層名	写真	
		上端深度 (m)	下端深度 (m)				有無					幅 ^{※4} (cm)	鉛直			水平
							肉眼	薄片	総合							
H24-D1-3 (傾斜45°)	①	13.94	14.06	N26E	77W	6.0	有	有	有	1.0	有	15L	—	左	H-3d	13  14 14  15
H24-D1-3 (傾斜45°)	②	14.41	14.52	N31E	66NW	5.5	有	有	有	1.8	有	20L	—	右	H-4'	14  15
H24-D1-3 (傾斜45°)	③	34.23	34.52	N12W	89W	16.6	有	有	有	0.7	有	75L	正	—	D-1	34  35
H24-D1-3 (傾斜45°)	④	52.13	52.28	N7E	70W	9.6	有	有	有	0.5	無	0	—	右	非モザイク化	52  53
H24-D1-3 (傾斜45°)	⑤	56.88	57.24	N2E	89W	17.5	有	有	有	0.5	有	50L	正	右	D-35	56  57 57  58

※1 断層岩区分の総合評価に基づき記載し、肉眼「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「—」を記載

※2 斜めボーリングの場合は、計測値を補正した値を記載

※3 卓越しない成分については「—」を記載(両成分「—」は薄片観察を行っていない箇所)

※4 破砕幅及び断層ガウジ・断層角礫の幅は実幅を記載

—(上記以外): データを取得していない箇所

凡 例	
	: 最新活動面
	: 断層ガウジ
	: 断層角礫
	: 破砕幅 カラーバーが付いていない区間はカタクレーサイトを示す

性状一覽表
H24-D1-2

性状一覧表(H24-D1-2) (1/1)

第1239回審査会合
資料3-2-3 再掲

確認箇所	破砕部番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ・断層角礫			最新活動面の 明瞭な せん断構造 変形構造 ^{※1}	条線 方向 ^{※2}	変位センス ^{※3}		破砕帯名 断層名	写真		
		上端深度 (m)	下端深度 (m)				有無	幅 ^{※4} (cm)	鉛直			水平					
													表面			薄片	総合
H24-D1-2 (傾斜60°)	①	12.38	12.97	N11W	75W	41.7	有	有	有	0.5	有	80R	正	-	D-1	12	
H24-D1-2 (傾斜60°)	②	19.78	19.87	N16E	65W	3.0	有	無	無	-	-	5L	-	左	非モデル化	19	
H24-D1-2 (傾斜60°)	③	31.44	31.46	N3W	63W	1.2	有	有	有	1.2	有	5L	-	右	非モデル化	31	

- ※1 断層岩区分の総合評価に基づき記載し、肉眼「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「-」を記載
 ※2 斜めボーリングの場合は、計測値を補正した値を記載
 ※3 卓越しない成分については「-」を記載(両成分「-」は薄片観察を行っていない箇所)
※4 破砕幅及び断層ガウジ・断層角礫の幅は実幅を記載
 -(上記以外): データを取得していない箇所

凡 例	
	: 最新活動面
	: 断層ガウジ
	: 断層角礫
	: 破砕幅 カラーバーが付いていない区間はカタクレーサイトを示す

性状一覽表
H24-D1-4

性状一覧表(H24-D1-4) (1/1)

第1239回審査会合
資料3-2-3 再掲

確認箇所	破砕部番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ・断層角礫			幅 (cm)	最新活動面の 明瞭な せん断構造 方位構造 ^{※1}	条線 方向 ^{※1}	変位センス ^{※3}		破砕帯名 / 断層名	写真
		上端深度 (m)	下端深度 (m)				有無	肉眼	薄片	総合			鉛直	水平		
H24-D1-4 (傾斜45°)	①	10.91	10.93	N13W	78W	1.8	有	有	有	1.8	有	80L	正	-	D-1	10
H24-D1-4 (傾斜45°)	②	27.75	28.43	N6E	83W	40.9	有	有	有	0.4	有	90	正	-	D-35	27
																28
H24-D1-4 (傾斜45°)	③	52.97	53.46	N41E	50NW	34.6	無	無	無	-	-	70R	正	-	非モデル化	52
																53
H24-D1-4 (傾斜45°)	④	60.06	60.38	N18E	86W	22.6	有	有	有	0.3	無	5R	-	左	非モデル化	60
H24-D1-4 (傾斜45°)	⑤	61.47	61.52	N27W	83W	5.0	有	有	有	0.1	無	60L	正	右	f-d1-4-5	61
H24-D1-4 (傾斜45°)	⑥	63.67	63.90	N20E	88W	7.9	無	無	無	-	-	66L	逆	-	非モデル化	63

※1 断層岩区分の総合評価に基づき記載し、肉眼「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「-」を記載

※2 斜めボーリングの場合は、計測値を補正した値を記載

※3 卓越しない成分については「-」を記載(両成分「-」は薄片観察を行っていない箇所)

※4 破砕幅及び断層ガウジ・断層角礫の幅は実幅を記載

-(上記以外): データを取得していない箇所

凡 例	
	: 最新活動面
	: 断層ガウジ
	: 断層角礫
	: 破砕幅 カラーバーが付いていない区間はカタクレーサイトを示す

性状一覽表
H27-B-3

性状一覧表(H27-B-3) (1/2)

第1239回審査会合
資料3-2-3 再掲

確認箇所	破砕部番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 ^{※2} (cm)	断層ガウジ・断層角礫			最新活動面の 顕微鏡的な せん断構造 変形構造 ^{※1}	変位 方向 ^{※3}	変位センス ^{※3}		破砕帯名 断層名	写真		
		上端深度 (m)	下端深度 (m)				有無					幅 ^{※2} (cm)	鉛直			水平	
							肉眼	薄片	総合								
H27-B-3 (傾斜45°)	①	26.70	26.90	N18E	61W	14.1	有	有	有	0.2	無	20L	-	左	f-r-1-1	26	
H27-B-3 (傾斜45°)	②	28.12	28.14	N15E	64W	1.0	有	無	無	-	-	10L	-	左	非モデル化	28	
H27-B-3 (傾斜45°)	③	29.10	29.12	N31E	51NW	1.9	有	有	有	1.0	有	0	-	左	非モデル化	29	
H27-B-3 (傾斜45°)	④	42.85	42.91	NS	71W	5.6	有	有	有	フィルム状	無	0	-	右	H-2	42	
H27-B-3 (傾斜45°)	⑤	56.69	56.72	N2W	36W	2.8	有	有	有	0.1	無	30L	正	右	f-r-1-2	56	
H27-B-3 (傾斜45°)	⑥	58.89	58.98	N11W	54W	8.9	有	有	有	1.5	無	0	-	左	非モデル化	58	
H27-B-3 (傾斜45°)	⑦	59.69	59.75	N37E	48NW	5.3	有	有	有	0.1	無	50L	正	右	非モデル化	59	

※1 断層岩区分の総合評価に基づき記載し、肉眼「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「-」を記載

※2 斜めボーリングの場合は、計測値を補正した値を記載

※3 卓越しない成分については「-」を記載(両成分「-」は薄片観察を行っていない箇所)

※4 破砕幅及び断層ガウジ・断層角礫の幅は実幅を記載

-(上記以外): データを取得していない箇所

凡 例	
	: 最新活動面
	: 断層ガウジ
	: 破砕幅
	: 断層角礫
カラーバーが付いていない区間はカタクレーサイトを示す	

性状一覧表(H27-B-3) (2/2)

第1239回審査会合
資料3-2-3 再掲

確認箇所	破砕部番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 ^{※1} (cm)	断層ガウジ・断層角礫			最新活動面の 明確な せん断構造 実形構造 ^{※1}	変位 方向 ^{※2}	変位センス ^{※3}		破砕帯名 断層名	写真		
		上端深度 (m)	下端深度 (m)				有無	幅 ^{※1} (cm)	鉛直			水平					
													肉眼			薄片	総合
H27-B-3 (傾斜45°)	⑧	76.59	76.89	N42E [※]	14W [※]	23.6	有	有	有	0.1	有	7R [※]	- [※]	右 [※]	非モデル化 [※]	76 	77
※ 破砕部の走向・傾斜をBHTV画像から取得できなかったことから、同一ボーリングコアの他の不連続面と本破砕部の位置関係から推定した値及びその値を用いて検討したデータ																	
H27-B-3 (傾斜45°)	⑨	91.35	91.54	- [※]	- [※]	16.9	有	有	有	1.0	無	0 [※]	- [※]	左 [※]	H-3e	91 	92
※ 破砕部の走向・傾斜をBHTV画像から取得できなかった。 ※※ 破砕部の走向・傾斜をBHTV画像から取得できなかったことから、試掘坑で確認したH-3eのN12E75Wを用いて検討したデータ																	
H27-B-3 (傾斜45°)	⑩	99.50	99.68	N15W	89E	13.0	有	有	有	1.0	無	2R	-	左	H-3d	99 	100
H27-B-3 (傾斜45°)	⑪	115.00	115.12	N36E	87NW	3.0	有	有	有	フィルム状	無	56L	正	右	H-4	114 115 	115 116
H27-B-3 (傾斜45°)	⑫	119.11	119.25	N20E	87W	12.3	有	有	有	1.0	有	60L	正	右	D-1	119 	120
H27-B-3 (傾斜45°)	⑬	129.84	129.91	N27E	88E	5.9	有	無	無	-	-	90	逆	-	非モデル化	129 	130

※1 断層岩区分の総合評価に基づき記載し、肉眼「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「-」を記載
 ※2 斜めボーリングの場合は、計測値を補正した値を記載
 ※3 卓越しない成分については「-」を記載(両成分「-」は薄片観察を行っていない箇所)
 ※4 破砕幅及び断層ガウジ・断層角礫の幅は実幅を記載
 -(上記以外): データを取得していない箇所

凡 例	
 : 最新活動面	 : 破砕幅 カラーバーが付いていない区間はカタクレーサイトを示す
 : 断層ガウジ	 : 断層角礫

余白

性状一覽表
H27-B-4
(H27-B-4')

性状一覧表(H27-B-4) (1/1)

第1239回審査会合
資料3-2-3 再掲

確認箇所	破砕部番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 ^{※1} (cm)	断層ガウジ・断層角礫			最新活動面の 顕微的な せん断構造 ^{※1}	卓越 方向 ^{※2}	変位センス ^{※3}		破砕帯名	写真
		上端深度 (m)	下端深度 (m)				肉眼	薄片	総合			鉛直	水平		
H27-B-4 (傾斜45°)	①	15.91	16.36	—	—	31.8	有	—	有	2.5	有	—	—	D-1	
H27-B-4 (傾斜45°)	①	23.97	24.42	N16W	83W	18.9	有	有	有	0.2	有	60L	正 右	D-1	
H27-B-4 (傾斜45°)	②	29.74	29.78	N1E	75W	2.3	無	無	無	—	—	31L	正 右	非モデル化	
H27-B-4 (傾斜45°)	③	48.39	48.43	N48E	78SE	4.0	無	無	無	—	—	80R	正 —	非モデル化	
H27-B-4 (傾斜45°)	④	64.65	64.91	N4E	87E	19.8	無	無	無	—	—	50L	正 右	H-6c	
H27-B-4 (傾斜45°)	⑤	65.59	65.72	N1W	80W	11.7	無	無	無	—	—	59L	正 右	非モデル化	
H27-B-4 (傾斜45°)	⑥	93.13	93.22	N17E	75W	7.9	有	有	有	1.2	有	42R	正 左	H-7	
H27-B-4 (傾斜45°)	⑦	108.44	108.71	N39E	80SE	23.6	無	無	無	—	—	22L	— 右	f-b-4-6	

: 最新活動面
 : 断層ガウジ

凡 例
 : 破砕幅
 カラーバーが付いていない区間はカタクレイサイトを示す
 : 断層角礫

※1 断層岩区分の総合評価に基づき記載し、肉眼「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「—」を記載
 ※2 斜めボーリングの場合は、計測値を補正した値を記載
 ※3 卓越しない成分については「—」を記載(両成分「—」は薄片観察を行っていない箇所)
 ※4 破砕幅及び断層ガウジ・断層角礫の幅は実幅を記載
 -(上記以外): データを取得していない箇所

性状一覽表
H24-D1-5

性状一覧表(H24-D1-5) (1/1)

第1239回審査会合
資料3-2-3 再掲

確認箇所	破砕部番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 ^{※1} (cm)	断層ガウジ・断層角礫			最新活動面の明瞭なせん断構造変形構造 ^{※1}	軸線方向 ^{※2}	変位センス ^{※3}		破砕帯名・断層名	写真			
		上端深度 (m)	下端深度 (m)				有無					鉛直	水平					
							肉眼	薄片	総合									
H24-D1-5 (傾斜50°)	①	8.51	8.71	N7W	80W	10.0	有	有	有	0.6	有	64L	正	右	f-d1-5-1	8		9
H24-D1-5 (傾斜50°)	②	10.19	10.21	N14E	77W	1.3	有	有	有	0.5	有	20L	-	左	H-3d	10		11
H24-D1-5 (傾斜50°)	③	10.45	10.50	N31E	65NW	4.8	有	有	有	0.1	有	39L	正	右	H-4'	10		11
H24-D1-5 (傾斜50°)	④	47.47	47.89	N1E	88W	17.7	有	有	有	0.6	有	80L	正	-	D-1	47		48

※1 断層岩区分の総合評価に基づき記載し、肉眼「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「-」を記載

※2 斜めボーリングの場合は、計測値を補正した値を記載

※3 卓越しない成分については「-」を記載(両成分「-」は薄片観察を行っていない箇所)

※4 破砕幅及び断層ガウジ・断層角礫の幅は実幅を記載

-(上記以外): データを取得していない箇所

凡 例	
	: 最新活動面
	: 断層ガウジ
	: 断層角礫
	: 破砕幅 カラーバーが付いていない区間はカタクレーサイトを示す

性状一覽表
H31-R-1

性状一覧表(H31-R-1) (1/2)

第1239回審査会合
資料3-2-3 再掲

確認箇所	破砕部番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 ^{※2} (cm)	断層ガウジ・断層角礫			最新活動面の 明瞭な せん断構造 変形構造 ^{※1}	変位センサ ^{※3} 鉛直	変位方向 ^{※3} 水平	破砕帯名 断層名	写真						
		上端深度 (m)	下端深度 (m)				肉眼	薄片	総合						破砕幅 ^{※4} (cm)					
H31-R-1 (傾斜50°)	①	24.50	24.67	N2E	51W	16.7	有	有	有	0.6	無	5L	-	左	F-r-1-1	24		25		
H31-R-1 (傾斜50°)	②	38.69	38.72	N18E	36W	2.9	有	無	無	-	-	63L	正	右	F-r-1-2	38		39		
H31-R-1 (傾斜50°)	③	42.24	42.31	N45E	83SE	2.5	有	無	無	-	-	73R	正	-	F-r-1-3	42		43		
H31-R-1 (傾斜50°)	④	42.68	42.80	N28W	10W	10.2	有	無	無	-	-	73R	逆	-	F-r-1-4	42		43		
H31-R-1 (傾斜50°)	⑤	70.94	71.83	N20E	88W	55.9	有	有	有	2.0	有	79L	正	-	F-r-1-5	70		71		72
																72		73		74
H31-R-1 (傾斜50°)	⑥	72.72	73.09	N42E	59NW	29.6	無	無	無	-	-	28L	逆	左	非モデル化	72		73		

※1 断層岩区分の総合評価に基づき記載し、肉眼「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「-」を記載

※2 斜めボーリングの場合は、計測値を補正した値を記載

※3 卓越しない成分については「-」を記載(両成分「-」は薄片観察を行っていない箇所)

※4 破砕幅及び断層ガウジ・断層角礫の幅は実幅を記載

-(上記以外): データを取得していない箇所

凡 例	
	: 最新活動面
	: 断層ガウジ
	: 断層角礫
	: 破砕幅 カラーバーが付いていない区間はカタクレーサイトを示す

性状一覧表(H31-R-1) (2/2)

第1239回審査会合
資料3-2-3 再掲

確認箇所	破砕部番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 ^{※2} (cm)	断層ガウジ・断層角礫			破砕幅 ^{※4} (cm)	最新活動面の 明瞭な せん断構造 発露構造 ^{※1}	変位 方向 ^{※3}	変位センス ^{※3}		破砕帯名 / 断層名	写真	
		上端深度 (m)	下端深度 (m)				肉眼	薄片	総合				鉛直	水平			
H31-R-1 (傾斜50°)	⑦	73.70	73.83	N16E	87W	8.5	有	無	無	-	-	74R	正	-	H-1-7	73	
H31-R-1 (傾斜50°)	⑧	74.57	74.68	N19E	75E	4.3	有	無	無	-	-	12R	-	右	非モデル化	74	
H31-R-1 (傾斜50°)	⑨	84.89	85.12	N35E	28NW	21.2	無	無	無	-	-	40R	逆	右	非モデル化	84	
																85	
H31-R-1 (傾斜50°)	⑩	86.18	86.23	N2W	66E	1.4	有	無	無	-	-	20R	-	右	非モデル化	86	
H31-R-1 (傾斜50°)	⑪	88.30	88.40	N19W	80E	4.7	有	無	無	-	-	64R	逆	右	非モデル化	88	
H31-R-1 (傾斜50°)	⑫	97.76	97.78	N23W	75W	0.9	有	有	有	0.2	無	28R	正	左	H-4	97	
H31-R-1 (傾斜50°)	⑬	124.39	124.42	N22W	83W	2.1	有	有	有	フィルム状	無	46L	正	右	H-5	124	

※1 断層岩区分の総合評価に基づき記載し、肉眼「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「-」を記載

※2 斜めボーリングの場合は、計測値を補正した値を記載

※3 卓越しない成分については「-」を記載(両成分「-」は薄片観察を行っていない箇所)

※4 破砕幅及び断層ガウジ・断層角礫の幅は実幅を記載

-(上記以外): データを取得していない箇所

凡 例	
	: 最新活動面
	: 断層ガウジ
	: 破砕幅 カラーバーが付いていない区間はカタクレーサイトを示す
	: 断層角礫

余白